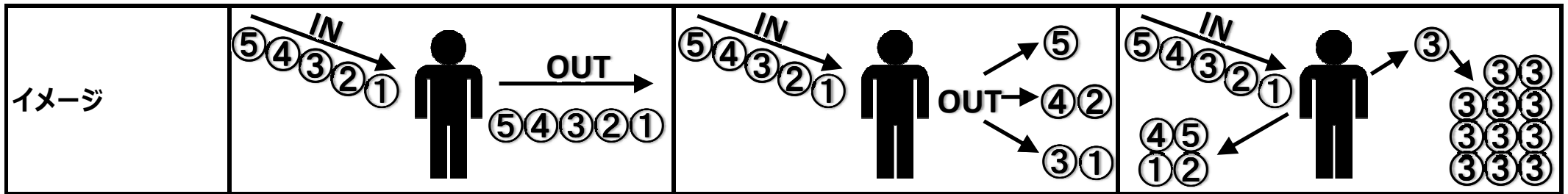


『時の支配者』マスターピース ～ 時間とは、変化を認識するために作られた発明である。

	レベル1:時間の奴隷、下請け	レベル2:時間の管理者	レベル3:時間の支配者、オーナー
基本スタンス	他の人が決めた仕掛け、タイミング、順番でやる できるだけその場の快を多く、不快を少なく！	やるべきことを、自分のフレームワークで行なう 少ない時間と労力で、できるだけ多くの事を！	やらないことを決めて、やったことは積み重ねる 大切な事と、積み重ねる事だけやる。
キーワード	反応・処理	効率・組み合わせ	選択・資産化

従属的 主体的

思考	「これ好き！これ嫌い！」 ほとんど無考えの時が多い。	「これは、いつ、どのようにやるのが効率的か？」 「なにと組み合わせるべきか？」	「これは、やる必要があるか？誰がやるのか？」 「資産化できるとしたら？」
----	-------------------------------	--	---



人間関係	相手に合わせようとする。	自分に合わせようとする。	大切ならトコトン。そうでないならスルー。
探し物・検索	どんどん探す場所が増えて、探す時間が増える。	「住所」を決めて、うまく収納する。	今必要なもの以外、できるかぎり所持しない。
判断	ものすごく悩んだ後、気分・経験で判断。	効果・効率・損得で判断。	信念・原則で判断。

主な仕事	誰かから回ってきたものを、誰かのルールで処理	ルールにのっとった効率化。調整。	ルール、仕組みを作る。
お金	労働時間 ⇨ お金	仕事量 ⇨ お金	資産の質 ⇨ お金
ツール	我慢、考えないこと。	スタッキング、モジュール。	人格の目標、マスターピース。
パラダイム	時間は、流れるものだ。	時間は、使い方だ。	時間は、積み重ねるものだ。

適しているシチュエーション	義務上、どうしても必要な時。快樂優先の時。	「中間」を管理する時。	コントロール可能範囲が大きい時。
長所	思考や工夫は、あまり必要ない。	限られた時間の中で、より多くのことをやれる。	どんどん自由な時間が増える。
短所	いつのまにか誰かのために時間を捧げている	手段の目的化が起こりやすい。	責任がともなう。

時間をかけること	作業そのものとストレス解消。	ツールの吟味。	使命や本質を咀嚼すること。
フォーカスと生き方	過去にフォーカス、未来を生きる。 (過去の問題を見て、未来にできそうなことを夢想)	今にフォーカス、過去を生きる。 (今の問題を見て、過去できたことが自慢)	未来にフォーカス、今を生きる。 (未来の問題を見て、今できることをやる)